

7 環境にやさしい【グリーンスタジアム】

経済成長と環境政策の両立を実現

2006 FIFAワールドカップドイツのスローガンは、「The Green Goal Project」。欧州のサッカースタジアムには、環境に配慮した工夫が見られる。

- ① 効率的で持続可能な土地利用の視点から、人の集まりやすいまちなかに近く立地する。
- ② 水使用の効率化のために、雨水などを活用する。
- ③ 多くの緑 (Urban Forest) に囲まれ、市民の憩いの場をつくる。
- ④ 自然エネルギー利用促進のために、屋根には太陽光発電パネルを設置する。
 - ・ スイスにあるベルン・ヤングボーイズのホームスタジアム、スタッド・ドゥ・スイスの屋根の全面に設置されたソーラーパネルは、4,500㎡と世界一の面積。年間150万kw(約500世帯分)の電力を生産して地元電力会社に供給する。太陽光発電に関する「体験学習センター」が屋上に設けられている。
- ⑤ リユースカップや食器を使用するなど、ゴミ削減やリサイクル促進を図る。
 - ・ 飲み物購入の際には、リユースカップの保証金を預け、カップを返却すれば戻る仕組み。カップはクラブ独自のデザインで、そのまま家に持ち帰ることもできる。フライブルク(ドイツ)で初めて導入され、年間約100万個の紙コップのゴミが消滅した。
- ⑥ 温暖化ガス削減のために、アクセスの良い公共交通の利用を促進する。
 - ・ 公共交通：大勢のファン・サポーターが集まり、同時に解散する場合、何両にも連結されたトラム(路面電車)が利用される。バーゼルのザンクト・ヤコブ・バルクの両側には、トラムと国鉄の駅が設置。
 - ・ コンビチケット：入場券には「試合開始前後数時間、市内一円の公共交通機関は無料で利用できます」と記され、乗車料金が含まれている。



緑に囲まれたスタジアム(ドレスデン)



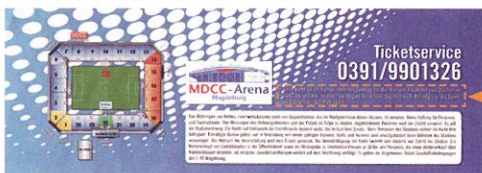
電力を供給するスタジアム屋根上のソーラーパネル(ベルン)



リユースカップはクラブ独自のデザイン(左はアイントラハト・フランクフルト、右はロシア・ドルトムント。ともにドイツ)



公共交通機関の利用を促進(バーゼル)



コンビチケットの例(マクデブルク)

試合前後3時間
まで無料と記載

8 プロフェッショナル【スタジアム経営】

各分野の専門家集団による

- ・ スタジアムが合理的に建設、維持、管理できるよう、設計段階から、建設、管理までを一括して発注する。
- ・ 複合型ビジネスへの対応
- ・ 国際試合招致やイベント開催などのマーケティング
- ・ スタジアム内のキャッシュレス化
- ・ 3か月に一度、経営者相互の協議会の設置(ドイツ)

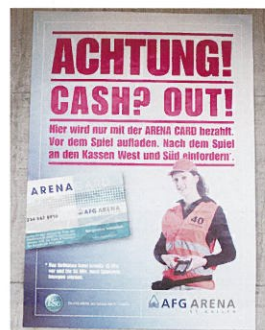
(参考)建設単価比較

※1ユーロ=120円、1スイスフラン=85円

ホームクラブ	国	竣工年	収容人数	建設費	席単価	サッカー場	複合型
VfLヴォルフスブルク	ドイツ	2002	2万2000人	64億円	29万円	○	-
ダイナモ・ドレスデン	ドイツ	2009	3万2000人	55億円	17万円	○	-
1.FCマクデブルク	ドイツ	2006	2万2000人	37億円	17万円	○	-
ベルン・ヤングボーイズ	スイス	2005	3万2000人	68億円*1	21万円	○	○
FCバーゼル	スイス	2001	4万3000人	98億円*2	23万円	○	○
FCザンクトガレン	スイス	2008	2万人	59億円	30万円	○	○
ジェフユナイテッド千葉	日本	2005	1万8500人	81億円	44万円	○	-

*1複合部分は+230億円

*2複合部分は+115億円



写真のカード販売員が
コンコース内でチャージ
もする(ザンクトガレン)



物販、飲食はこのカードリーダーで電子決済(ザンクトガレン)



スタジアムの夜明け

「Arenaアレナ」「Parkパーク」。
スタジアムは世界中で生まれ変わり、
地域社会に新たな感動空間をもたらしている。
この大きな流れの中に、成人を迎えたJリーグも、その第一歩を踏み出した。

24年前の開幕当初、1リーグ、10クラブだった同志は、
J1、J2、J3の三つのリーグと“百年構想クラブ”を合わせて、60クラブになった。
それぞれのクラブが創るスポーツ文化は、「地域愛」や「市民」をキーワードに、
ホームタウンに暮らす人たちに勇気と希望を与えている。
そんな“うちのクラブ”は、地元にとってかけがえのない存在になった。

ホームスタジアムとは、クラブの「家」である。
また、誰もが気軽に足を運ぶ、みんなの「クラブハウス」である。

これから先、

もし スポーツ文化としての「サッカースタジアム」であるなら、
もし 地域の誇りとして「ホームスタジアム」のありさまを貫くなら、
もし コミュニティー空間として、快適な観戦環境で、家族みんなが楽しめるなら、
もし 地域の社交場として、ホームの感情を共有できるラウンジを備えているなら、
もし 街の集客装置として、誰もが気軽に集えるまちなかに立地しているなら、
もし 365日、人々を呼び込み収益を生み出す多機能複合型であるなら、
もし 緑に囲まれ、自然エネルギーを再生、ゴミを削減するなど環境に配慮されているなら、
もし こうしたスタジアムの経営に、各分野の専門家が携わっているなら、

スタジアムは、すべてのことを手に入れる。

みんなを満足させ、街の誇りとして愛され続けるスタジアム。
文化的にも経済的にも地域社会に貢献するスタジアム。
プロスポーツにふさわしいビジネス環境としてのスタジアム。



■ Jリーグに関するご意見、ご提言等ございましたらお寄せください。
お問い合わせ：公益社団法人 日本プロサッカーリーグ 広報部
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目10番15号 JFAハウス9階
TEL.03-5805-3300 FAX.03-3830-2007
Jリーグ公式サイト <https://www.jleague.jp>

J.LEAGUE NEWS特別版「スタジアムの未来」
発行日 2011年3月8日 第6刷 2017年7月18日
執筆 傍士 銃太(元Jリーグ理事)
写真 ©Jリーグ

Extra 防災拠点【ライフスタジアム】

Emergency

災害時の大規模ベースキャンプや住民の避難場所として「まちなかスタジアム」が活躍する

利便性に優れている

- ・万人単位の収容能力がある。
- ・まちなかに立地している。
- ・情報や通信の最新設備が完備している。
- ・医療体制が整備されている。
- ・ピッチがヘリポートになる。
- ・安心・安全な避難生活を送ることができる。

十分なトイレ数

収容人数2万5000人の場合（ACL基準）

男性用小便器：100器以上

洋式トイレ(男女計)：125室以上

シャワールームの完備(18基以上)

更衣室の完備

厨房完備による温かい食事提供

外気を遮断したコンコース内



災害対策の拠点に欠かせない情報収集機能（英国のウェストプロムウィッチ）



避難者への情報提供、告知、誘導機能も果たす（英国のポルトン）

自立性のある施設

- ・太陽光、自家発電によるエネルギー供給
- ・貯水槽、雨水の活用
- ・物資の大量備蓄可能

帰宅困難者の受け入れ拠点として

後方支援拠点として



負傷者の応急手当て、医療機関への誘導の中核となる医務室、救護室。ドイツのバイエルン・ミュンヘンの施設



清潔で十分な数のトイレが各スタンドに。ポルトガルのスポルティング・リスボンの施設



温水シャワーだけでなく、バスタブも完備（リスボン）



温かい食事を取ることができる広いラウンジ（ミュンヘン）



ラウンジの裏には広い厨房が完備している（ミュンヘン）

動き始めた日本のスタジアム

Stadiums in Japan

国内のスタジアムも「未来」に向かって動き始めた。
これまでの「競技場」から「スタジアム」へ。
「スタジアムを核としたまちづくり」へ。

【まちなか】

2010年11月、北九州市が山陽新幹線・小倉駅の北500mの立地にギラヴァンツ北九州のホームとなる「まちなかスタジアム」計画を打ち出し、17年3月にオープンした。

京都府も、JR山陰本線・亀岡駅北口から300mの立地に“京都スタジアム(仮称)”の建設を決めている。



©北九州市



©京都府

京都からJR嵯峨野線の快速で20分、亀岡駅の駅前に建設される京都スタジアム(仮称)

新幹線・小倉駅から徒歩7分、シーサイドに完成したミクニワールドスタジアム北九州

【複合】

“市立吹田サッカースタジアム”と大阪モノレール・万博記念公園駅との間には、大型商業・レジャー施設「EXPOCITY」がある。2015年10月にスタジアムが竣工し、翌11月にこの大型複合施設も開業。当該エリアを「万博スマートコミュニティ」と称し、共同で再生可能エネルギーの活用、複数施設でのエネルギー利用、広域災害時の自立電源の取り組みが行われている。大規模複合施設とスタジアム、相乗効果による「まちづくり」が期待される。

15年8月、“県立カシマサッカースタジアム”に「アントラーズスポーツクリニック」が開院。整形外科とリハビリテーション科の診療は鹿島アントラーズのチームドクターらが行い、プロスポーツ選手に施してきた高度な医療が地域住民に還元されている。



大型複合施設と隣接する市立吹田サッカースタジアム。写真左上の青い屋根が万博記念公園駅

【防災】

2016年10月に八戸市に完成した“ダイハツスタジアム”は、J3の開催基準も満たす天然芝のスタジアムと、夜間照明を備えた人工芝のグラウンド。地区の交流施設(コミュニティーセンター)となる諸室も備え、日常利用もしやすい。また、最大クラスの津波から被災を免れる一時避難施設としても機能する設計で、沿岸部の防災拠点として一体的に整備される。



東日本大震災の被害が大きかった八戸市多賀地区の活力創生の期待を担うダイハツスタジアム



アントラーズスポーツクリニックでは高度医療を地域に還元

ユアテックスタジアム仙台(仙台市)

県立カシマサッカースタジアム(鹿嶋市)

埼玉スタジアム2002(さいたま市)

フクダ電子アリーナ(千葉市)



長野Uスタジアム (長野市)



市立吹田サッカースタジアム (吹田市)

【ピッチ管理】

2015年3月に竣工した“長野Uスタジアム”は、南側のゴール裏を一層にして太陽光がピッチに届きやすい構造となっている。南北のスタンド下に設けられた通風口によって風の通りも確保。スプリンクラーはピッチ内に24基とピッチの周囲に24基。インフィールド自動散水システムにより、同時に、均等にピッチへ散水する光景は、試合前の「ショータイム」だ。



2015シーズンに使用が開始された長野Uスタジアム。試合前の散水は見どころの一つになっている

【ビジネスラウンジ】

2015年3月に大規模改修を終えた川崎市の“等々力陸上競技場”メインスタンド6階には、VIPラウンジとは別にビジネスにも活用できる「スカイテラス」が設けられている。両面ガラス張りのラウンジは、フィールド側と等々力緑地側のそれぞれに展望が開け、晴天時は東京スカイツリーや富士山も見える。



VIP感を味わえる等々力陸上競技場のスカイテラス

【スカイボックス】

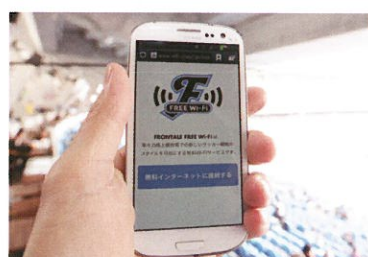
テラス席を備えた個室も充実。“埼玉スタジアム2002”のメインスタンドには、26室のビューボックスがあり、食事を楽しみながら観戦できる。同スタジアムは2002年のFIFAワールドカップ準決勝の一つを開催したこともあり、各部屋には歴代大会準決勝の開催都市名が付けられている。



1962年チリ大会開催のサンティアゴ市の名を冠した個室

【Wi-Fi】

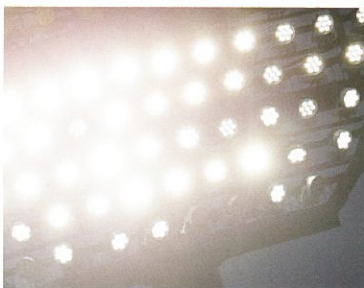
2015年6月、川崎フロンターレが、Jリーグで初めてとなる来場者向け無料Wi-Fiサービス「FRONTALE FREE Wi-Fi」の提供を“等々力陸上競技場”で開始した。Wi-Fiは試合時だけでなく、防災にも役立つ大事な通信環境だ。



試合や防災の情報取得に活躍するWi-Fiサービス

【LEDの夜間照明】

2015年3月に改修された“沖縄県総合運動公園陸上競技場”には、LEDの夜間照明が設置された。“市立吹田サッカースタジアム”も全てLED照明。消費電力削減、長寿命、調光機能、瞬時点灯可能といった省エネ性と照明環境が向上した。“等々力陸上競技場”、“パロマ瑞穂スタジアム”、“県立カシマサッカースタジアム”でもLED化が進められた。



照明環境向上の沖縄県総合運動公園陸上競技場



市立吹田サッカースタジアムの照明はもちろん全てLED

【AED 自動体外式除細動器】

Jリーグの試合では入場者用として、J1、J2は2台以上、J3は1台以上のAED設置が義務付けられている。



IAIスタジアム日本平のAED設置



豊田スタジアム (豊田市)



ノエビアスタジアム神戸 (神戸市)



レベルファイブスタジアム (福岡市)



ベストアメニティスタジアム (鳥栖市)



2017シーズン Jクラブのホームスタジアム

- …陸上競技用トラックあり
- …陸上競技用トラックなし

- 太字…J1クラブ(18)
- 細字…J2クラブ(22)
- 小字…J3クラブ(14)

- …Jクラブがある都道府県(含 Jリーグ百年構想クラブ)
- …Jリーグ百年構想クラブがある都道府県
- …その他の都道府県

※ J3には以下のクラブの他、FC東京U-23、ガンバ大阪U-23、セレッソ大阪U-23が参加

